

# 「世界同時不況」 日本に本格上陸!

バブル時代のボーナス時にはこんな光景も



先に北見氏が触れたとおり、三地域とも管理職でない五十代サラリーマンの年収の中心が、五百万円を割り込んだことがわかる。教育費や住宅ローンなどに追われる世代の収入が、大きく減っているのだ。

「関西の下落幅が首都圏や愛知に比べて小さいのは、十九年度以前の落ち込みが激しかったためです。国税庁の民間給与実態調査を見ても、大阪は平成九年からの十年間で平均年収が六十一万円も下がっている。全都道府県でワースト1の下落率です。その分、税収も減るわけですから、大阪の財政が悪化したのは、当然といえば当然でした」

五十代の年収が減っているのは、管理職も同じだ。③は愛知の五十代管理職のグラフ。一番高い山は十九年も二十二年も六百万七千

次に、ボーナスを見る。⑤は、首都圏一般男子五十歳の年間賞与。十九年度、二番目に割合が多かったのは、百五十万円以上の一九%だった。二十二年にはここがわずか五%と、見る影もない。

代わりに増えたのが〇万超え〜三十万円未満の金額帯で、九%から二〇%へ。もうひとつ衝撃的なのは、「〇万円」の人が一二%いるという現実だ。「合計すると、年間に三十

は二十五万七千円から二十四万四千円に減り、二十五万円未満の占める割合が、四四%から五五%へ上昇している。

「この比率には大きな意味があると思う」と北見氏は語る。

「給料から社会保険料を引いた手取り額は、おおよそ額面×〇・八で算出できます。額面で二十五万円ないと、手取りは二十万円を切ってしまうことになるからです」

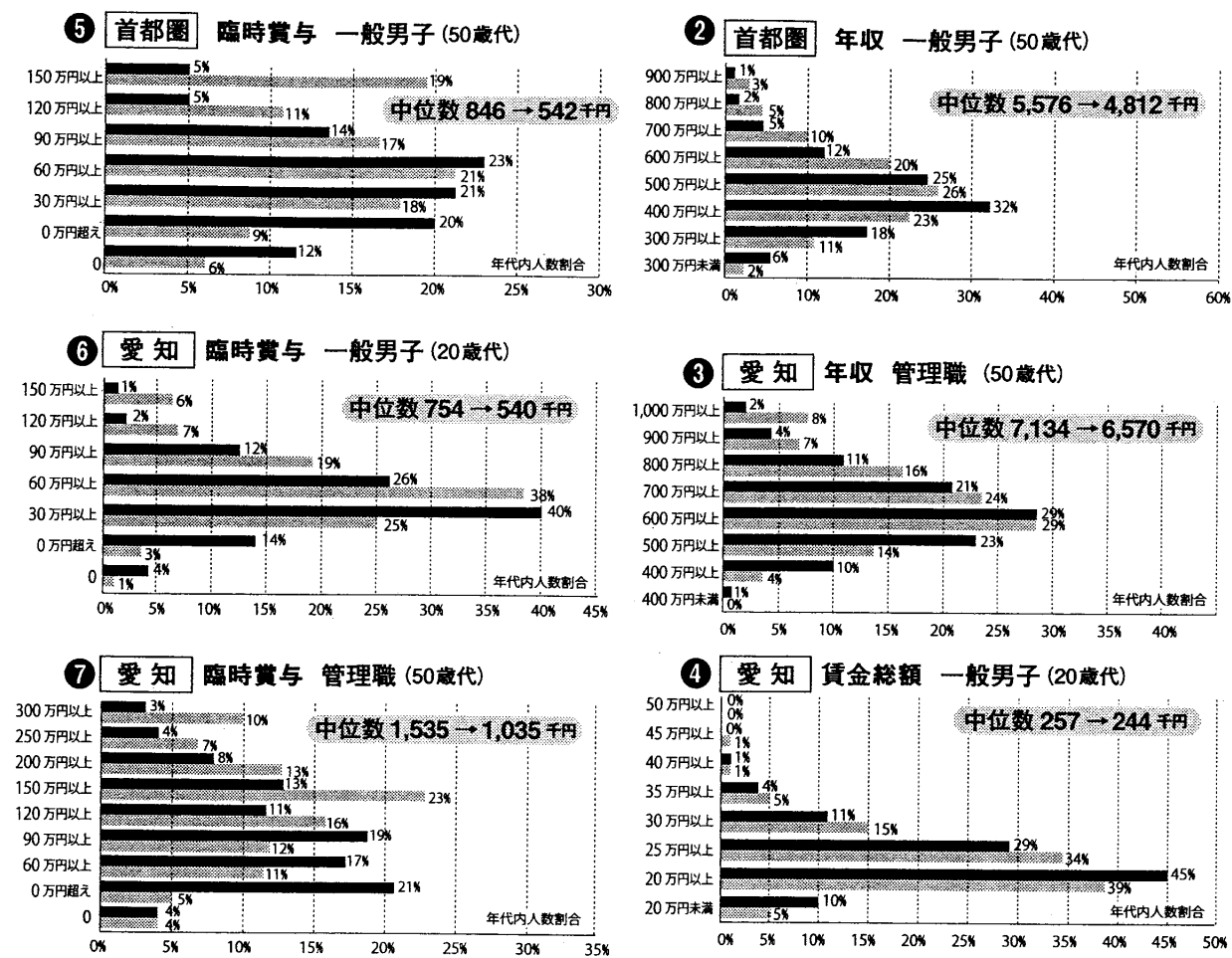
## ボーナスゼロが二二%もいる

万円未満のボーナスしかもらっていない人が三二%。つまり三人に一人いるわけです。五十代一般女子だと、これが三五%になる。

首都圏ではボーナスゼロの企業の割合が八%から一三%に増えました

愛知の一般男子二十歳代のボーナスを見ると、十九年度には六十万円〜九十九万円未満の割合が一番多く、三八%を占めていた。これが二十二年には、三十万〜六十万円未満が最多にな

平成19年度→22年度 金額別人数割合グラフ



首都圏の五十代男性一般社員の年収を示したものの。十九年度は、五百万円〜六百万円未満の間に一番高い山がある。つまりこの金額帯に、一番多くの人数が分布していた。ところが二十二年には一番高い山は、ひとつ下の四百万円〜五百万円未満へ移り、高さも増している。

そしてこの金額以下の人、つまり年収五百万円未満の人は、十九年度には全体の三六%だったのが、二十二年には五六%と過半数

を占めるようになった。中位数を見ても、十九年度の五百五十七万六千円が二十二年には四百八十一万二千円と、年間で実に七十六万四千円ものマイナスになっている。

三つの地域を比較したとき、リーマンショック後の落ち込みがもっとも激しいのが、実は首都圏。五十代管理職が、七百五十一万二千円から六百七十七万四千円へ、七十三万八千円のマイナス。四十代の一般男性社員が、五百二十九万八千円から四百八十五万五千円へ、四十四万三千円減と、厳しい数字が並んでいる。

**手取り二十万円未満急増**

五十代一般男子の比較に戻ると、愛知では、五百三十万七千円〜四百八十三万六千円で、四十七万七千円減。五百万円未満の人の割合は、四一%から五四%へ上昇した。

関西は、五百五万四千円〜四百九十九万六千円と、五万八千円減。五百万円未満の人が占める割合は、四九%から五一%へ。

(財)JKA

無限の夢へ、走りだそう。

**RING!RING! プロジェクト**

競輪 & オートレースの補助事業

地方自治体が開催する競輪・オートレースの売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

平成23年度東日本大震災復興 ぐわしくはウェブで 支援補助の事業を行っています。 RING!RING! 検索

RING! RING! レポート⑥

NPO法人 キッズドア

今日も着実に進む、被災地の復興。ただし、子ども達の心のケアにまでは、十分に手が届いていません。

「RING!RING!プロジェクト」では、NPO法人キッズドアが作成する「被災した子どもの心のケア」ブックレットや、南三陸町の小学校で行われている心のケアのワークショップ「放課後クラブ」などへの補助を通じて、これからの子ども達一人一人の夢を応援していきます。